

中学公民 ～ "経済" って難しい?! ②～

今回は、「経済」の意味について辞書で確認し、①の意味に関わる身近な事例を紹介しました。今回は、②の意味に関わる身近な事例を紹介します。

【経済】(『ポケットプログレッシブ国語辞典』小学館より)

- ① 社会に必要な物を生産・分配・消費する活動。
- ② 金銭のやりくり。家計。

お小遣いの使い方について考えさせ、意見交流をさせる。

《3, 000円のお小遣いをどう使うか》

教師 「中学生のAさん、Bさん、Cさんが、それぞれ3, 000円のお小遣いをもりました。3人のお小遣いの使い方は次の通りでした。」

〈板書〉

Aさん・・・すべて貯金

Bさん・・・半分洋服代、半分貯金

Cさん・・・半分ゲーム代、半分食べ物代



教師 「この3人の中で、一番上手なお小遣いの使い方をしているのはだれかな？」

生徒 「Bさんだと思います。自分が欲しいものに使って、残りは使わずに貯金しているからです。」

生徒 「わたしもそう思います。全部使ってしまったら、欲しいものや必要なものが後から出てきたときに困ると思います。」

生徒 「ぼくも、同じ理由でBさんです。Cさんの使い方はあまりにももったいなさすぎます。無駄遣いの典型です。」

生徒 「家の人が働いて得たお金なのだから、もっと大切に使うべきです。」

教師 「これらの意見についてどう思いますか？」

生徒 「ぼくは、Cさんの使い方が悪いとは思いません。自分がもらったお金なのだから、何に使おうと自分の勝手だと思います。」

生徒 「欲しいものは、欲しい時に買わないと意味がないと思います。」

生徒 「そうです。欲しいものに使ってこそ、お金の価値があると思います。」

教師 「それでは、Aさんの使い方についてはどう思いますか？」

～ 以下略 ～

このように、生徒にとって身近なお小遣いの事例を提示することで、生徒の本音がぶつかり合う意見交流が期待できます。

意見交流の最後に、「このようなことが経済を考えることのひとつである」ことを告げて、身近な生活の中にも“金銭のやりくり、という経済が存在することを捉えさせます。

